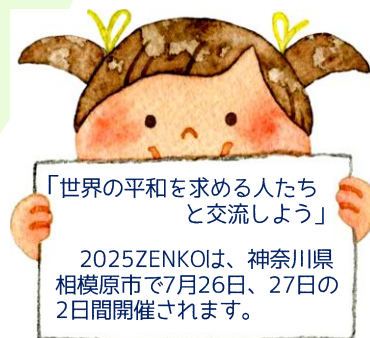


《生きづらい・行きづらい学校》の 今を 変えたい！ ーパネル・ディスカッションー



不登校全国約35万人、自死する子ども数は過去最悪となっています。教員からも「連日14時間労働でへ口へ口だ。」と学校で人権が守られていない悲鳴が続いています。現在の学校は制度疲労していると久しく言われています。解決への糸口が見えない中で子どもたち・教職員の「生きづらい、行きづらい」状況が続いています。

私たちはその現状が変わってほしい、変えたいと思います。同じ思いを持つ方々、4人のパネラー報告後、グループに分かれて討議・交流します。子どもたちの最善の利益になる学校のあるべき姿、方向をぜひ、一緒に考え交流しましょう。

パネラー紹介

- ①不登校を経験した若者
- ②不登校の子どもを
持つ保護者
- ③市民の立場から
元学校関係者 久保敬さん
- ④学校現場の
教職員から



日時：2025年7月27日（日）9時30分～12時30分

場所：メイン会場「フリースペースたんぼぼ」 横浜市（JR京浜東北線・京急線 鶴見駅徒歩7分）

サテライト会場 ①相模原市民会館 相模原市（JR横浜線 相模原駅から徒歩20分 または 神奈川中央交通バス）

②エル・おおさか 大阪市（谷町線 京阪電鉄「天満橋」駅から5分）

分科会参加チケット代： 一般 ¥1,500、 学生・障がい者・非正規・無職の方 ¥700

チケット購入について： 会場参加、現金決済の方は直接分科会会場、または分科会スタッフまで

オンライン参加希望の方、クレジット等で購入の方は、右記のQRコードで「チケット・賛同」から申し込みをお願いします。

オンライン参加申し込みは7月25日（金）17:00まで



分科会以外の2025ZENKO
イベント紹介もこちらから
ご覧になれます。

地図は
裏面に

つながろう！子どもたちと働く教職員のために



◆パネラー紹介◆

1

不登校を経験した当事者の
青年Aさん（25歳横浜在住）

「安心があれば、子どもは
前に進めるよ！」

2

不登校の子どもの保護者Bさん
（横浜市在住）

「お金がなければ不登校の子は家に
いるだけというのは問題ではない
でしょうか。」

3

市民の立場から
元学校関係者の久保敬さん
（全国人権教育研究協議会事務局）

～大阪からオンラインメッセージ～

「学校は変わってほしいではなく、
学校を変える気持ちをもとう！」

4

学校現場の現職教員
Cさん（大阪市立小学校）

～大阪からオンラインメッセージ～

「教職員は思考停止状態。人権が
守られていないのが問題」



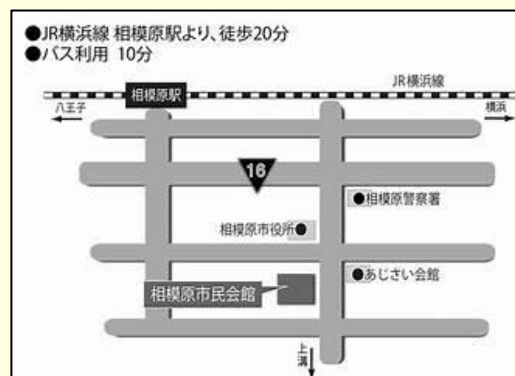
会場案内

3つの会場をオンラインでつなぎます

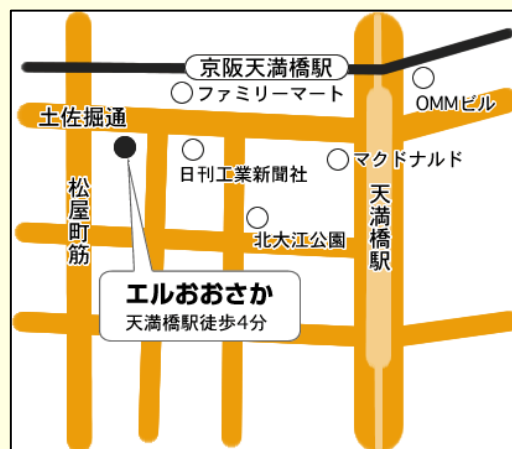
《メイン会場 フリースペースたんぽぽ》
神奈川県横浜市鶴見区佃野町1-7深谷ビル202



《相模原市民会館》神奈川県相模原市中央区中央3-13-15
JR横浜線 相模原駅から徒歩20分 または 神奈川中央交通バス



《エル・おおさか》 大阪市中央区北浜東3-14
谷町線・京阪電鉄 天満橋駅から徒歩300m



主催：2025 ZENKO（平和と民主主義をめざす全国交歓会）in 相模原
こどもと教育分科会実行委員会

お問い合わせ：NPO法人子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ
TEL 045-834-7970 mail info@freespace-tanpopo.com



たんぽぽHP